

# 今後の主な対話項目【生物多様性関連】進捗状況（1/2）

【R8.1.21 専門部会終了時点】

「今後の主な対話項目」全28項目のうち、対話完了は16項目、対話中は12項目

生物多様性関連17項目のうち、対話完了は9項目、対話中は8項目

進捗欄：○は対話完了、△は専門部会で対話中、－は専門部会で次回以降対話に着手

区 分	主な対話項目	進捗状況	
		前回	今回
1 沢の水生物等への影響 (4項目)	(1) 適切に順応的管理を行うための事前の生物への影響の予測・評価（保全措置、管理基準等）	△	○
	(2) 沢の上流域の水生物等の生息状況の調査や、その結果を踏まえた重要種の確定と指標種の選定	△	△
	(3) 必要な調査（季節毎の生物の生息・生育状況の把握など）の工事着手前の実施	△	△
	(4) 「流量減少の傾向がみられる沢」の重点的なモニタリング	△	△
2 沢の流量変化 (6項目)	(1) ボーリング調査の実測データを用いた再解析（上流域モデル見直しを含む）	○	○
	(2) 上流域モデル(GETFLOWS)により解析できない沢の源流部などの流量変化の予測	○	○
	(3) 「重要でない断層」と「主要な断層」の区分の科学的根拠	○	○
	(4) 地下水(トンネル湧水)の水量・水質・湧水量や地下水位の観測	△	△
	(5) モニタリング(トンネル湧水・沢の流量)の具体的な手法(沢の物理的環境に応じた生息・生育地のセグメント設定等)	△	△
	(6) 突発的な事態への対策(リスク管理)	△	△

# 今後の主な対話項目【生物多様性関連】進捗状況（2/2）

【R8.1.21 専門部会終了時点】

「今後の主な対話項目」全28項目のうち、対話完了は16項目、対話中は12項目

生物多様性関連17項目のうち、対話完了は9項目、対話中は8項目

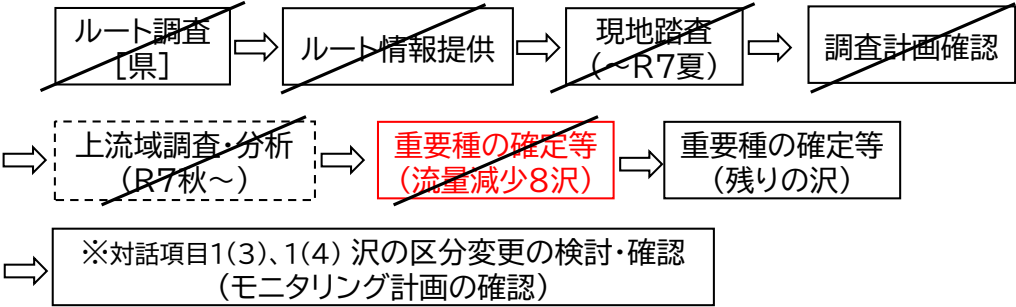
進捗欄：○は対話完了、△は専門部会で対話中、－は専門部会で次回以降対話に着手

区 分	主な対話項目	進捗状況	
		前回	今回
3 回避・低減措置及び代償措置 (3項目)	(1) 薬液注入による自然環境への影響の把握方法、具体的なリスク管理	○	○
	(2) 樫島より上流(本流河川)の流量減少に対する具体的な保全措置、モニタリング計画	△	○
	(3) 生物への影響を予測し、「損なわれる環境の『量』と『質』を評価」した上での、「それに見合う新たな環境の創出」等の環境保全措置	△	△
4 高標高部の湧水と地下水のつながり (1項目)	(1) 千枚小屋付近の1年中枯れない湧水箇所周辺及びそれと同様な状況を示す湧水箇所周辺における湧水や植物への水分の供給経路に関する断層、破碎帯や地形、地質との関連性	△	○
5 大井川本流の水質・水温の変化による底生生物等への影響 (3項目)	(1) 水の濁りについて、底生動物の無被害濁度を超えない、安全な管理基準値の設定	○	○
	(2) 水温について、生物への影響が懸念されない、安全な管理基準値の設定	○	○
	(3) 底生生物等への影響の回避・低減措置と、その有効性の検証及び、仮に対応が不十分な場合の追加措置	△	△

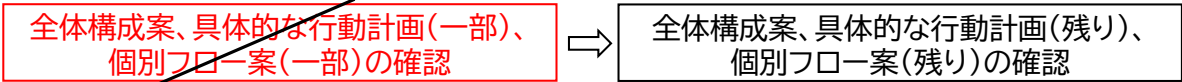
今回対話継続となった項目の進捗状況

専門部会での対話      JR作業

- 1(2) 沢の上流域の水生生物等の生息状況の調査や、その結果を踏まえた重要種の確定と指標種の選定
- 1(3) 必要な調査(モニタリング)の工事着手前の実施
- 1(4) 「流量減少の傾向が見られる沢」の重点的なモニタリング



2(6) 順応的管理のシナリオ



3

「今後の主な対話項目」(28項目)の進捗状況

進捗欄:○は対話完了、△は専門部会で対話中、－は専門部会で次回以降対話に着手 ※赤字:今回の進捗

分野	項目数	進捗状況 (前回まで)			進捗状況 (今回)		
		○	△	－	○	△	－
I 水資源編	6	6	0	0	6	0	0
II 生物多様性編	17	6	11	0	9	8	0
III トンネル発生土編	5	1	4	0	1	4	0
進捗状況まとめ	28	13	15	0	16	12	0